

1. 内外政

- ・3日、マリヌツァ前国防相(自由改革党)は、ルプ民主党党首との会談後、同党へ入党することを決めた旨発表。
- ・3日、フォルムザル・ガガウズ自治区首長は、30日の選挙への不出馬を表明。
- ・4日、ヴォローニン共産党党首は、モルドバは欧州に位置しており欧州基準で仕事をすべきであり、右はモルドバの優先課題である、連合協定に不適切な項目はあるが、欧州との連合自体は真つ当なプロセスである旨発言。
- ・4日、ドドン社会党党首は、グレチャニ元首相とともにモスクワを訪問、プーチン露大統領と会談。
- ・6日、シュタンスキ「沿ドニエストル副首相兼外相」は、欧州のジャーナリストに対し、ウクライナの「ノヴォロシア」の住民は

現在生き延びることに必死なだけであり、同地の紛争を24年間国家として成立している沿ドニエストル「共和国」の状況と類似していると見るのは適切でない旨、また同「共和国」のロシアへの統合をロシアが認めることを期待している旨発言。

2. 経済

- ・3日、中央銀行は、2014年9か月間の海外からの本国送金が12.5億ドルとなり、前年同期と比べて9,400億ドル増加した旨発表。
- ・6日、レアンカ首相とハン欧州委員会欧州近隣政策拡大交渉委員は、2014-2017年のモルドバに対する上限4億1,000万ユーロの金融支援覚書及び、DCFITAの実施を支援するための資金協力協定に署名。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)